

野菜の生育状況及び価格見通し（平成27年6月）について
（東京都中央卸売市場における主産地及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類 (だいこん及びにんじん)	4月下旬以降の干ばつによる品質低下が発生。
葉 茎 菜 類 (はくさい、キャベツ等)	4月下旬以降の干ばつによる品質低下が発生。
果 菜 類 (きゅうり、なす等)	なす、ピーマンでは、4月上中旬の記録的な日照不足により生育遅延が発生。 トマトでは、4月上中旬の記録的な日照不足による樹勢低下が発生。
土 物 類 (ばれいしょ、さといも及び たまねぎ)	ばれいしょでは、4月上中旬の記録的な日照不足による品質低下が発生。 さといもでは、降雨等に伴う疫病の発生による収量の減少や、4月下旬以降の干ばつ等による品質低下が発生。 たまねぎでは、4月上中旬の記録的な日照不足及び4月下旬以降の干ばつによる品質低下が発生。

（各論）

品 目	主 産 地 (※ ()書きは 昨年6月の入荷 シェア。)	価格見通し (平年比)		今 後 の 生 育 及 び 出 荷 見 通 し
		6月前半	6月後半	
だ い こ ん	青 森 (54%) 千 葉 (24%)	先月からの高値水準で推移	平年並みに回復	<ul style="list-style-type: none"> 6月は、産地が関東から東北等に切り替わる時期。 6月前半は、関東の出荷が終期を迎える中で、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み。 6月後半は、東北産の生育が順調であることから、出荷数量、価格とも平年並みに回復する見込み。

にんじん	千葉(81%) 埼玉(8%)	先月から の高値水 準で推移	平年並み に回復	<ul style="list-style-type: none"> 6月は、<u>産地が関東に切り替わる時期</u>。 <u>6月前半は、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み</u>。 <u>6月後半は、6月に入り天候が順調に推移すれば、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み</u>。
はくさい	長野(62%) 茨城(22%)	先月から の高値水 準で推移	高値水準 で推移	<ul style="list-style-type: none"> 6月は、<u>産地が平地の茨城県産から高冷地の長野県産に切り替わる時期</u>。 <u>6月前半は、平地の産地にあっては、昨年の冬はくさいの価格が低落したことから、4月から6月までに出荷する春はくさいの作付を抑制したため、出荷数量が平年を下回り、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み</u>。 <u>6月後半は、高冷地の産地の生育が順調であるものの、平地での出荷が早く終期を迎えるものと見込まれることから、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み</u>。
キャベツ	千葉(43%) 茨城(25%)	先月から の高値水 準で推移	高値水準 で推移	<ul style="list-style-type: none"> <u>6月前半は、関東の平地の産地において、出荷が終期を迎えることや、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み</u>。 <u>6月後半は、生育の順調な関東の高冷地の産地からの出荷が始まるが、本格的な出荷は7月以降であることから、出荷数量が平年並みに回復しないため、価格は平年を上回る見込み</u>。
ほうれんそう	群馬(31%) 茨城(20%)	先月から の高値水 準で推移	平年並み に回復	<ul style="list-style-type: none"> <u>6月前半は、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み</u>。 <u>6月後半は、6月に入り天候が順調に推移すれば、出荷数量、価格とも平年並みに回復する見込み</u>。

ねぎ	茨城(56%) 千葉(20%)	先月から の高値水 準で推移	高値水準 で推移	<ul style="list-style-type: none"> 6月前半、後半とも関東の平地の産地において出荷されるが、これらの産地にあつては、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、6月を通じて、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み。
レタス	長野(74%) 群馬(19%)	先月から の高値水 準で推移	平年並み に回復	<ul style="list-style-type: none"> 6月からは、長野県産及び群馬県産の高冷地産地からの本格的な出荷が始まるが、4月上旬の降雨による定植の遅れや4月下旬以降の干ばつにより生育遅延しているところ。 6月前半は、出荷数量が平年を下回るため、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み。 6月後半は、6月に入り天候が順調に推移すれば、出荷数量、価格とも平年並みに回復する見込み。
きゅうり	埼玉(21%) 群馬(15%) 福島(14%)	平年並み で推移	平年並み で推移	<ul style="list-style-type: none"> 6月前半は、関東の産地から出荷されるが、4月下旬以降の干ばつ時には、ハウスものではかん水により対応しており、出荷数量、価格とも平年並みに推移する見込み。 6月後半には、福島県産の出荷が開始されるが、生育が順調であるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。
なす	高知(32%) 福岡(20%) 群馬(11%) 栃木(9%)	先月から の高値水 準で推移	平年並み に回復	<ul style="list-style-type: none"> 6月前半は、西日本の産地において、4月上中旬の記録的な日照不足による樹勢低下から、出荷数量が平年を下回るため、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み。 6月後半は、関東の産地から本格的な出荷が始まるが、関東産の露地ものの一部で、4月下旬以降の干ばつによる生産遅延が見られるが回復傾向。6月に入り天候が順調に推移すれば、出荷数量、価格ともに概ね平年並みに回復する見込み。

トマト	栃木(22%) 茨城(14%) 熊本(10%)	先月から の高値水 準で推移	平年並み に回復	<ul style="list-style-type: none"> 6月前半は、西日本の産地において、4月上中旬の記録的な日照不足による樹勢低下から、出荷数量が平年を下回るため、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み。 6月後半は、6月に入り天候が順調に推移すれば、出荷数量、価格とも平年並みに回復する見込み。
ピーマン	茨城(72%) 高知(6%)	先月から の高値水 準で推移	平年並み に回復	<ul style="list-style-type: none"> 6月前半は、茨城県産において、4月上中旬の記録的な日照不足や、露地ものでは4月下旬からの干ばつの影響による生育遅延から、出荷数量が平年を下回るため、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み。 6月後半は、6月に入り天候が順調に推移すれば、価格は、平年並みに回復する見込み。
ばれいしょ	長崎(56%) 静岡(15%)	先月から の高値水 準で推移	高値水準 で推移	<ul style="list-style-type: none"> 主要産地にあつては、4月上中旬の記録的な日照不足による品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、6月を通じて、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み。
さといも	鹿児島(57%) 宮崎(23%)	先月から の高値水 準で推移	高値水準 で推移	<ul style="list-style-type: none"> 主要産地にあつては、降雨等に伴い、一部ほ場で疫病が発生したことによる収量の減少や、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により出荷数量が平年を下回るため、6月を通じて、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み。
たまねぎ	佐賀(46%) 兵庫(17%)	先月から の高値水 準で推移	高値水準 で推移	<ul style="list-style-type: none"> 主要産地にあつては、4月上中旬の記録的な日照不足や、4月下旬以降の干ばつによる品質低下により、出荷数量が平年を下回るため、6月を通じて、価格は先月に引き続き平年を上回る見込み。